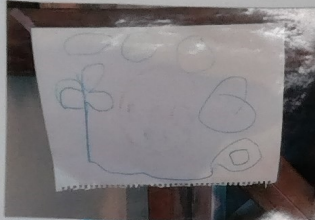


風車まで

おなかの中から

保育園

大冒険の巻



2

「迷道の階段が
あんなにいいのね」というような
お話をしながら出発!!
まだまだ遠くに見える風車を見ながら
マンゴーハウスを通り過ぎ山道を
進む子どもたち

1

ある日5歳児の男の子が「あの風車
まで行ってみたい!」とおなかの中から
保育園から見える山の上の風力発電所
を指差して言いました!!「雨が降って
きたらカッパも必要だね」「バササって
いきなれね」とワクワクしながら
出発を誓っていました月

3

地図を見ながら
今、ここじゃないかと
道を迷っています

畑で出会ったおじいちゃん
手作り地図を見せながら
「風車までいくところ!」と元気
高々に伝えていました



年少さんの女の子と普段なら
「ちゃがれた...」と座りにむくとも
ありませんが、この日は「さあ、いこう!」
と、最後まで歩くことができたのだ
「どうしてあんなに歩けたの?」と
帰り道にきいてみると「おんなが
しんがいてくれたから!」と
お話ししました。

5

「ついたー!」

ついに、風車まで到着!!
「もくもくまで行ってみたい!」
「大いね」と満足げな
子どもたち、達成感に
いっぱいでした!!

まとめ

おなかの中、保育園には、現在
1歳児のから5歳児の子どもたち、(2名
通っています。
異年齢保育の中でも、大のこ
「主役」と大のこであるため、大のこ
「や、て、たい!」と最大限、叶えよう
と、環境づくりと保育者の
連携を工夫しています。



4

最後の1本道は
車もビクビクの見勾配な細い道!
坂の手前まで、お散歩大好きな
2歳児の男の子も一緒に
歩いていましたよ

